

6年	単元名	短歌をつくろう 教科書「たのしみは」(光村図書)	3時間
単元の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌の構成を理解し、短歌の素材を集めることができる。</li> <li>表現したい風景や思いに合わせた素材を選択することができる。</li> <li>友達と協働して表現に適切な素材を吟味することができる。</li> <li>心象を短歌で表現することができる。</li> </ul>	
日本語の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉を拍でとらえることができる。</li> <li>5拍あるいは7拍の言葉を探したり組み合わせで造ったりすることができる。</li> </ul>	
学習課題		桧原桜の物語に触れ「桜にちなんだ短歌」をつくる。	
主な学習活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌の構成を理解し5拍及び7拍の素材をつくとともに、それをもとにさくらにまつわる短歌をつくりだす。</li> </ul>	

時間	内容	活動	ポイント
0	家庭学習課題	NHK for school 「おはなしクラシック第15回」を親子で視聴し、一番気に入った和歌を選び、気に入ったわけをワークシートに書く。	★ワークシート「わけか〜く」
1	学習課題をつかむ。 (1)家庭課題の発表	<b>めあて：短歌の構成を理解し、学習のゴールをつかむ。</b> ・気に入った短歌を朗読し、それがよいと思ったわけを発表する。	・橘曙覧の短歌を分解し、「ひと」「もの」「時」「場所」「行動・状態」に分類する。
2	(2)短歌構成の理解 (3)短歌に使える財産づくり (4)短歌を詠む (5)ゴールを見通す。 (6)桜に関する短歌の財産を増やす。	・橘曙覧の短歌を読みその構成について考える。 ・「ひと」「もの」「時」「場所」「行動・状態」等の要素別に5拍もしくは7拍の言葉をカード書く。(個人) ・カードを組み合わせで「短歌」の形をつくる。(グループ) ・グループごとにつくった短歌を発表する。 ・「桧原桜物語」(福岡市公式YouTube)を視聴して学習課題をつかむ。(「はなみずき33号」参照) <b>ゴール：「桧原桜賞に出品する短歌をつくろう」</b> ・「さくら」に関する5拍、7拍の言葉に加え、「心のふれあい」「やさしさ」「おもいやり」等を表す5拍、7拍の言葉を探し、ワークシートに書き込む。	・カードにない言葉も使ってよいことを助言する。 ・「時と場所」「人と行動」などを組み合わせた5拍・7拍を作ればよいことを示唆する。 ★ワークシート「たのし〜み」 ★(ワークシート「さが〜す」) ・それぞれの財産を共有させるよう働きかける。
	家庭学習課題	授業で考えた5拍、7拍の言葉を組み合わせで短歌をひとつ完成させる。	★(ワークシート「さが〜す」)を持ち帰らせる。
3	短歌を詠む (1)個人で (2)グループで (3)振り返り	・宿題で完成させた短歌を発表する。(個人) ・2つ目に作品に挑戦する。 ・グループごとに発表会を行う。(相互批評) ・ルーブリックをもとに学習を振り返る。	★ワークシート「かけ〜た」 ・作った短歌を見直す。 視点①：別の言葉に置き換える 視点②：並べ方を変える ・ルーブリックで自己評価・相互評価を促す。
	家庭学習課題	短歌の修正と音読練習。 音読の場面をスマホで撮影しWEBにアップする。 家庭でもルーブリックで評価活動を行う。	○アップされた動画を編集し、後日、全員で鑑賞する。